

有宵会だより

第80号
発行所
特定非営利活動法人
岳易館・有宵会
編集 広報部
松戸市新松戸1-64

九星と易断による

四月・五月の運勢

気学では辰四月

四月四日（清明）節入り

生 気		
5	1	3
4	6	8
9	2	7
天 道 ア		

破

天 道

気学では巳五月

五月五日（立夏）節入り

4	9	2
3	5	7
8	1	6
生 気		

天 道

破



一白水星の人の運勢

四月筮―地水師の六四

五月筮―雷地予の六三

何かと用事が多く忙しい。身近な問題で急ぐと誤解を生ず。頼まれ事は軽く見ないで慎重に。誠意が通じないときは待つ、出費を押えて堅実、贅沢を避けて地味にいく。視力不足、冷え風邪に用心。五月はのんびり過ごし無理をしない。良くも悪くも変化を求めない。家庭の和と愛情があれば幸せです。予定の変更に嫌がるが延期がよい。足腰消化不良、聴覚の管理。

二黒土星の人の運勢

四月筮―山風蠱の九二

五月筮―天風姤の九四

四月はマンネリ調、日々の生活は変わりばえなく様子を見る。仕事は隠さずハッキリさせるのが有利。家族の間に対話不足信頼を取り戻すこと。何事にも気配りを忘れず、疲労回復と休養が大切。

五月の運氣は一步步前進、最近不調でも回復の兆しあり。仕事は現状を生かす。対人面で立場の違いと誤解がありそう

金運、愛情に不足を補う。生活習慣の一部を改める。

三碧木星の人の運勢

四月筮―風山漸の九五

五月筮―巽為風の初六

四月は好運を目指していく意欲があり楽しみ。目標あれば実行、支援者の協力を得るとき。他人の迷惑気にせずマイペースでも下旬は妥協する。仕事は円満に金運手固く食欲と睡眠で気分明るく。五月は見通しが見えるので安心。思いやりで家族の絆固めたし。人の話しは為になる静かに聞くこと。土壇場で予定叶うので粘って吉。毎日を大切に時間を有益に用いる。

四緑木星の人の運勢

四月筮―地天泰の初六

五月筮―山雷頤の六四

最近気忙しく嫌にな

るが四月は安定運。生活のペースを変えず平凡にいく。本業を大事に育てる先走るとミスが出やすい。新製品の買物は性能第一に収支明細を示す。足腰筋肉、神経過敏対策。

五月は交際面が盛んになり早めの予定をつくる。人は噂好き毀誉褒貶が付きもの。意外な情報飛び込むが面白い。礼儀作法がウルサイので心得て。骨盤と腰、腎泌尿に注目。

五黄土星の人の運勢

四月筮―地風升の六五

五月筮―沢天夬の九五

四月は頭押えられず気分は伸び伸び。予定は果断に処理する。葛藤の深い問題は手を付けず待つこと。仕事は後半月変化があるので用心、懐中の財布は出さず仕舞う、春風邪、疲れは肝胆から。五月は旧交を深めて福招く。人間関係を生かしていく。仕事面は旺盛ですが新しい事は抑える。長引く問題は打ち切るつもりで捨離。金運低調。疲労気味、他の再発注意。

六白金星の人の運勢

四月筮―火沢睽の九四

五月筮―天雷无妄の九四

好調の部分が残るが今月は今維持していく。肩の荷を軽くする手抜きも必要です。親しい仲にも礼儀あり敵をつくらない。仕事に朗報と家庭に修理直しが起きるので気配り。体調は食進むので平穩。五月は意気盛んであるので積極策を取るとき、苦労すれば成果を得ての喜び。多くの人の支援を受けるには柔軟に。見込み違いをさけて安全。頭痛、血圧、疲労に対処。

七赤金星の人の運勢

四月筮―風沢中孚の九五

五月筮―水天需の九五

四月は雑事が多忙で目が廻る。心労が増えるので不安定さあり。物事は渋滞気味なので焦りは禁物。舌禍で苦しむことがあるので警戒。目上に反感を買いやすく諸事自重。打撲や怪我、急変に注意。五月は平凡なペース、攻めより守りを固めて安心。リラックスして趣味や芸術鑑賞を楽しむ、一人になりたいとき心を打つものに接する。持病の部位、口腔、気管に用心。

八白土星の人の運勢

四月筮―雷天大壯の九四

五月筮―沢天夬の九二
四月は活気が出て春らしい爽やかさを満喫。仕事や用事など肩の力を抜いてみる。周囲の迷惑を気にしない。家庭の変化は臨機応変に処理。金銭投資は軽率さで損招く。気管支、睡眠、減量対処。五月はマンネリ気分を打破したい。短所より長所を生かせばチャンスをつくる。公私にわたりわが道を歩むが面子にこだわらず。金運は強いく。肩腰、胃腸、腫物に注目。

九紫火星の人の運勢

四月筮―天風姤の上九

五月筮―地雷復の六二

四月は現在も大事だが将来の方針へ始動する。公私にわたり改善策を実施、財産管理、不動産のことなど提案、身内の問題はそろそろと処理。乗物と物忘れに用心のこと。足腰、皮膚、腹部に用心。五月は好調な運氣に支えられ人気上昇。知識や情報は十分に吸収して目的に近づける。去る者は追わず来たる者は拒まず。人情の機微を知る。明日への予定を決めて進める。視力、歯、血圧など手当。

福田有宵

一月有宵会報告

山本 悠里帆

平成二十九年一月二十八日（土） 足立区勤労福祉会館ブルミエにおいて、新年一月の有宵会例会が開催されました。司会は佐藤宗眩先生です。

まず、牧野有峰先生と菅原有恒先生から新年の挨拶をいただきました。



「牧野有峰先生」

おめでとうございます。新年の挨拶は、有宵会の新年号に書いてありますので、今日は「有峰会」の活動について少し話をしたいと思います。

「有峰会」は発足して十年ちよつとになります。昨年は我孫子のヨーカ堂で無料鑑定会を行いました。大変盛況で、短い時間ではよく見てもらえないとのこと、すぐにワゴンコインでまた鑑定会を

行いました。ヨーカ堂の方から今年もやって下さいとのオファーがありました。

取手を拠点に活動しています。今年の二月十一・十二日に取手の公民館祭りに鑑定会を実施します。三月十一・十二日にも別の公民館で行う予定です。

市の教育委員会からは気学や手相などをやってもらいたいといわれております。今年の秋頃に実施したいと思っています。少人数の会ですが、地域の方で頑張つて活動をしていきたいと思っています。



「菅原有恒先生」

今日は旧暦のお正月です。おめでとうございませう。今日は書と易についてお話をしてみたいと思います。

無から有を生ずると言います。無というものは何も無いと思われがちですが、易を学んで行くと

どうもそうではないようだ。無と言うものは〇が並んだ無限大であろうと。〇の向こうにまた〇あり。ということは有限なのではないか。

有宵先生のお名前、宵は夜、これは見えないつまり無です。無と有を併せ持った宇宙全般とも言える、道号と私は思っております。

詩・書・易。この三つには共通点がある。無から有を生ずるという点です。

詩は志（こころざし）の之（ゆく）ところ。言わなければ解らない。書は何もない真っ白な紙に墨でかく。

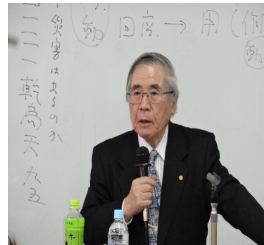
易は将来を見る。将来は目で見えない。今、易の言葉を書くことをやっていて良かったなと思います。年筈も頂いたら必ず書き、一年間飾っておいて、今年はどうだったかと反省をし、また来年の事を考える、ということをしています。書くことは良いことです。皆さんも、自分の好きな言葉や年筈を書いて、これからの飛躍に役立ててください。 国立新美術館にて、二月六日まで、

新春展を開催しています。そこに易の四卦を隷書で書いたものを出品しています。

また、第六十三回の清真会書道展を、上野公園内の東京都美術館にて三月二日から三月八日まで開催します。詩歌の自詠自書展です。興味のある方、一緒に書いてみませんか？

第二部

福田有宵先生



*今年一年を気学と易断により考察する

時運推断

今年は十干十二支で「丁酉」、一白中宮の年。

一白は、流動的・変わり易さ、新たに生まれるもの・生み出していく、沢山生まれるが、育たない。

自然現象

自然現象は、先天盤の要素も含めて見ていく。

・定位Ⅱ体Ⅲ基本・内容
・回座Ⅱ用Ⅲ作用・働き
十二支の条件で破れ、気学の五黄による暗剣殺。

日本の気象条件

「火地晋」上爻で、夏にポイントあり。

災害はあるかで、乾为天の五爻。上から表れてくる。天候の変化あり。天の災いⅡ温暖化・日照り・砂漠化。台風・梅雨前線からくる大雨・洪水。

八白が東の震宮に回座し、歳破が付いている。

三碧が対沖し、東西（中部地方）で土壌の変化・土砂災害・雷。艮宮に四緑が回座し、風水害による土砂災害が懸念される。八白が動いて行く、月盤を見る。

今年の日本の気候は、中宮の一白で、水はたつぷりある。また寒冷さを示す。坎宮に六白の暗剣殺で水の問題、上水道・水害・雪害・海流の変化が懸念される。

台風

地火明夷の五爻ゆつくり来る・迷走する・いくつも来る。

九月の台風が最も厳しい。次は八月下旬。大型で、コースは西南・南と東南方位。艮宮に四緑が乗っている、地上に風が吹く状態。風台風か。梅雨前線による災害

今年は、六白に暗剣殺が付くので都市型の洪水、七月の雨に注意が必要。六月初めの動きから警戒すること。

地震

水雷屯五爻
春から夏にかけて、震度四から五のものあり。津波の心配はない。

火山

山沢損の二爻
内部の変化あり。大きな被害はない。外卦で押さえているので。

火災・事故

離宮に五黄（体）が回座
Ⅱ火災（用・九紫）そのものが五黄の影響を受ける。スクラップ工場や廃液廃棄物関係の業種が注目。また地下街は注意。

九紫が巽宮にある。海外の薬品関係の事故あり、八白歳破で条件が重なる、ビル倒壊などの懸念。九紫が月盤でどこに動いていくかでみる。

竜巻

地球規模で荒れている感じがする。自然環境は十年位のサイクルで見えていく必要がある。

経済

一白中宮の年は「不景気である」と言われている。

景氣を表すのは異宮。

九紫（金融・証券）が回座し、実態より部分的には景氣の良さがある。しかし中小企業は相変わらずである。

景氣の動向は、四緑そのものを見る。今年は艮宮に回座し、艮の変化というものを観て、貿易関係に波乱含み。また九紫が異宮に回座している中で、部分的には景氣の良業種あり。九紫は「繰り返す」という意味を持つので、波は二回ある。

政治は、

六白を見る。今年は暗剣殺が付く。国家運営がなかなか厳しい。下の方・坎宮にいますので、下からの突き上げ・動乱・クーデターなどが起きやすい。どの国も影響を受けつつ進んでいく。

暗剣は、五黄の存在があるから。五黄が回座している場所を考慮に入れないと、正しい判断は出来ない。離宮に五黄が来ているので、組織・国というものが壊れることはない。

日本は、新しいものを作り出していかねければならない。国会での論争も盛んになる。しかし、口

だけは出しても実態は伴

わない。中宮一白は結果を出すかでは出さない、ということである。またある時期、汚職の問題が出て来る。六白が坎宮で暗剣殺付きなので、地方自治体や下部組織においてある。まだ表に出ていないが、いつ出るだろう

日韓関係

山水蒙五爻、風水渙

蒙はズルズルした動き、五爻でしばらく先になる。五爻が陰なので、今度の

大統領は日本最良にはならない。上爻（これを何と見るか）の陽に抑えられるので身動き出来ない。



一白水星

今年は中宮である。俗に八方塞がりと言われている。しかし八方から手を差し伸べてくれてもいる。ここでは吉方位を見る。ここでは吉方位を見ること。運氣は三年位前から（原因は震宮の時）

見る。前年良ければ、今年も良い。だんだん下り

坂となる。現状維持。

対人関係が複雑な時。頭を下げることで活路を開くことができる。ここでは運を上手に使うように。今年は運を使い切らないようにする。ここがコツ。しかしどうしても使うことが出やすい。必ず救いがある。開き直ることで打開できる。

二黒土星

乾宮に（生きている値打ち）回座。こういう時は良いことを考えている。昨年来思っていることがある。犠牲を払ってでも、それを実行すればよい。

七赤が被同会し、自分の好ましい人（毒にも薬にもならないが）との付き合いが生まれてくる。ここに来た時に考えていることは良いことである。

三碧木星
兌宮（口・食べる事・お金）へ回座。やれやれホッ

としたと一息つけるところ。自由・楽しみ・金銭をやりくりできる。樂觀的になり、油断をしやすい。自分自身で甘く見る。被同会は八白（財産・家の中の問題・不動産・投資・家そのもの）で歳破がついている。対冲である。今年は、八白のことには口を出さない。家の中の問題・財産の問題・家の修理などについて、つまらないことを言わないように気をつける。

四緑木星

艮宮に回座し、簡単にはいかなければ、自分から変化するところ。来年ツケが回ってくる。（来年暗剣殺が付くので注意）大物振りを發揮するところ。前年（兌宮）はそれ程でもなかったが、今年は自分の志とするところ、自分の将来を考える。（家系上のこと・血脈）

被同会は九紫。決めた事はきちんと文書にして書類を残しておく。問題が出て解決できるよう

に。話が出たら、その話に乗るところ。どの方角から話が出たかきちんと見ること。少し大人しいゆっくりしている人は不安がある。今年は、上り下りがある。感染しやすい体質。

五黄土星

離宮に回座。前年から努力して、上に昇るよう

にすること。表彰される。学業方面で願いが叶う。節（公平・公正）にかけられる。基準（ルール・エチケット・マナー）があり、縛られるが、それに合わせればよい。

威張らないこと。ストリートな言い方（九紫の影響）、キツイ言い方になりやすい。

山の頂上にいる。下に降りる用意、下を見ること。しかし上を見ていて危険。階段の降り方注意。ケガに注意。はずみがつく。

六白金星

坎宮に回座、暗剣殺が付く。暗剣殺は受け止めれば良い。自分をセーブ出来るときは、運を良く捉えられる。

親子関係は、どういうふうに過ごせるか。お互い

包容力があれば暗剣殺に

ならない。五黄があるから暗剣殺が付く。古い問題をむしかえす・古傷・過去にこだわる・自分と価値観が違おう—こういう事を出してしまおうので、暗剣殺になる。

七赤金星

坤宮に回座。堅実にする。人と同じように頭を並べなければならぬ。

坎宮（答が出ないところ）から出たばかりなので、平らに欲をかかない。体丈夫でいられるところ。しかし、持病は出やすい。体のリズムは同会したところの意味が出るので、食が進む。

被同会は三碧。うっかり発言に注意が必要とき。人を批判しないように

にする

平地を歩く。体のリズムに合うので胃腸が良くなる。

八白土星

震宮に回座。歳破が付く。元氣よく、積極性が出る。これは目的があるから。破れが付いているからと言って、頭を押さえないことーのびのびしなくなる。(暗剣殺・破は後回しにすること)

被同会は四縁で、友人・知人との関係が出てくる。人より早くしたい!と思う。

情報が沢山入ってくる(異宮から)が、その情報に迷う。

神経を使いすぎる所あり。これは失敗した時、破で、ウツになりやすい。緻密な計画が必要。しかし大雑把だと相手に言いがかりをつけられる。

「失敗は成功のためにある」と思って歩んで行く。これが震宮にいる時の歩み方である。

九紫火星

巽宮に回座。良い話があるが、被同会の五黄が良い顔をしない。先方の中に五黄がある。人のウサ・過去の問題などが尾を引く。感染症・大腸に関する

食中毒に注意。風邪をこじらせないように。

交際上手・芸能方面に能力を発揮する。

山本 悠里帆

田無神社参拝

福田 有宵



新春の初参りは二月二十一日(火)、田無神社様に参拝、八十五名でした。

当日は晴れやかな様子で一安心、梅の蕾は可愛げに迎えてくれて心温まる境内でした。

交通は高田馬場駅から準急で三つ目、快適に飛ばして到着、歩いて六分と便が良いのが何より、定刻前に全員集合でした。

田無神社は鎌倉期の創建で、尉殿大権現という名で龍神であり水と風を始める神々で、神仏習合のところから不動明王としても信仰されて来ました。水神を守る意味が深いものです。

十一時の御祈祷には賀陽宮司により、各人の名前に祈願文を入れ、所在地まで読み上げてくださり丁寧な作法で、稀にみることこの上ないものでした。

本殿前の拝殿に八十五名着座、回廊まで食み出しての人数でしたが、静寂のあと宮司の朗々たる祝詞奏上でした。

祝詞文の中にNPO法人として、世のため人のために占いの道を進め尽くすことを再三にわたり奏して下さり、その神威を授けていただきました。

これ程の祝詞奏上を拝聴したことはありませんでした。

ここに謹しんでご祭神に敬畏、敬尊するものです。有難うございます。

素通しの拝殿に時々風が舞うようでしたが、ご神意の表れかもしれず畏まった次第でした。

皆様と共に感応をいただいた初参りでした。

田無在住の大橋初江さんのお世話をいただきました。



田無神社初参り

福田 有倭



平成29年2月21日有宵会の初参りは、東京都西東京市田無にある

田無神社にて85名の参加者でのお参りでした。

私は、数年前に龍の夢を見たのをきっかけに龍が大好きです。

最近読んだ本に、「龍使いになれる本」というのを読みました。

ラッキーな人は、龍の背中に乗れるそうです。田無神社には、中心に金龍、東方を青龍、南方を赤龍、西方を白龍、北方を黒龍が祀りされているとの事、当日、福田先生より、本日玉串奉納をして下さい。といわれ、龍の背中に乗った気分のようにうれしい事と、現実を考えると人前で、足がしびれ倒れたらはずかし

い、複雑な思いが交差しました。が、何よりも龍が来たーと、うれしく思いました。

田無神社の宮司さんは、85名ひとりひとりの名前で祝詞をあげてくださいました。

私の願いは心願成就願いでしたが、足が痺れませんでしたように、玉串奉納が無事に出来る事が神前での願いとなりました、気合いなのでしようか、願いが通じたのか、立ち上がれる痺れの中、玉串奉納を無事にする事ができました。

参拝を一通り終わると、神社ツアーをして下さり、本殿、拝殿は東京都指定文化財参集殿は国登録有形文化財、ご神木の大きなイチヨウの木、大きな獅子頭、境内には土俵、大鵬親方の石碑もあり、見どころが一杯の神社でした。

田無神社のおみくじは、神社の宮司さんにて、つぐられ五龍神のどれかが出ます。

私は白龍を引きました。福田先生のおみくじも白龍で一緒だった事が、何よりも良いおみくじとなりました。

最後に宮司さんのモヤモヤ話がありました。皆さん占いをされている方達、今年恵方巻きは、食べましたか?恵方巻き食べてる方あまりいませんか?でしたが、宮司さん曰く

節分3日に、恵方巻きを今年の吉方位を向き食べますが、4日からが今年の吉方位であって、3日は、まだ方位の良い日ではないのとの事。確かに!大きく領きたくなる事でした。業界はこのまま行くのかな?で参拝終了となりました。

その後、宮司さんのはからいがありまして、参集殿を利用していただいたのでお食事を皆でいただきとても長い時間パワースポットにいられ良い一日でした。

お札と方位除けのお守りをいただきました。田無神社では、お水取りもできるとの事、また行きたいと思っています。

帰り道、田無駅より、きれいな富士山が見え更にパワーをいただけたようでした。再度健康で楽しく一年過ごせますようお願いいたします。ご縁がありがとうございます。

弦楽四重奏・ピアノ
コンサート
の会
熊
本
県
復
興
支
援
チ
ャ
リ
テ
ィ
ー
!



堀口 一さんの主催

有宵会・有峰会会員の堀口さんは、去る一月二十二日(日)松戸市の森のホールでチャリティーコンサートを開催、参加者から大変好評を得て、有意義な会でした。

昨年からの企画で、熊本が一日も早く元の姿に戻る事を願って音楽を通じて、松戸から応援したいとする計画でした。

収益金は全額「ふるさと・くまもと応援寄付金」へ送られました。そして音楽を通じて、被災地域の方々が早く元気になりますよう、メッセージを通じて応援もしました。

この企画で多くの方々の賛同を得たこと、またビデオメッセージには、NPO法人の立場の私と元区長の出口晴三先生が応援の御挨拶を吹き込ま

れました。

堀口さんお疲れさまでした。
ご立派でした。

福田有宵記



『書道展に寄せる一文』

菅原有恒先生は、書道の大家であり、当会の賛助会員としてご指導をいただいております。

専門の書に関して、文字の解説・筆跡占い、測字の分析、易経の経文など蘊蓄を披露下さっています。先日のこと、上野の都美術館にて、だい63回詩歌自詠の清新会書道展があり、菅原先生は副理事長の重鎮として活躍中。

出品は『拝天満宮』の菅公を表わし四幅のものと見上げる書体でしたが伸びやかで自在な筆致には、気負いがなく率直な風致を感じました。だんだんと悟得の境地に近づいていくとき、書風はど

のように達していくのかと自問したり感慨深いものでした。同行の牧野有峰先生と共に感服した夕刻でした。

福田有宵

土筆

トクサ科の多年草で、早春、日当たりのよい土手や草地に生えます。「土筆」という名前の通り、頭は筆の穂先に似ています。ここから奉仕を飛ばします。肌色の茎には数センチごとに節があり、袴と呼ばれる切れ込みのあるさや(退化した葉)がついています。また、地下には長い地下茎があり、土筆の後には杉菜が生えます。草摘みで探す野草の一つで、古くから食べられています。味や歯ごたえは穂先が開く前の方がよいのですが、成長が早く時期が短いので、早めに採って摘みます。持ち帰ったら袴を取り、ゆでて灰汁抜きしたもの

を、佃煮や茶わん蒸し、卵とじなどにします。ほろ苦く野趣のある春の味です。

美しい日本の季語より



NPO通信

賛助会費として左記の方々からご寄付を頂戴致しました。(敬称略・順不同)菅原有恒・紫百希・小松輝子・牧野有峰・木村真理子・斎藤幸子・半田晴詠・久保田恵都予・福田有宵・佐藤宗眩

鑑定会の報告

◎三月五日(日)

江東区文化センターにての「春のぶんか祭り」に出演。無料鑑定会を一般社団法人 日本占術協会と協賛して行いました。当日は今迄にないお客様の数で百七十九名の方々の鑑定を致しました。当日の先生がお二人、有宵会からは、(敬称略・順不同)半田晴詠・久保田恵都予・吉祥水茹・えびすや真朱・白土愛真・福田有倭・紅光・綿引涼子・神崎ひとみ・凜百果・松浦優



◎三月十二日(日)

江東区総合区民センターにて「ら・館まつり」に出演。日本占術協会と協賛で無料鑑定会を行いました。当日は無料鑑定会の他に福田有宵先生の講演会も別に設けられ沢山のの方々からの相談と、福田先生の「運氣を上げるコツ」の講演も行いました。百七十名の方の相談に応じました。

出演の先生は(敬称略・順不同)日本占術協会の先生お二人、有宵会からは、福田有宵・佐藤宗眩・前田龍徳・長澤光祐・八川林加・白土愛真・神崎ひとみ・えびすや真朱・泰山林翰・杉本侑穂・川又早苗・福田有倭・凜百果・山田倫子・松浦優



事務局だより

お花見など戸外に楽しみたい人が多い中春です。

次回の例会

五月二十九日(月)

午後一時十五分より
場所・足立区勤労福祉会館「ブルミエ」
会場・大ホール

講演

定方昭夫先生

「元長岡大学教授」
心理学・易学・道教・気功・鍼灸の研究者」
「易・ユング心理学」

◎去る二月二十一日に

西東京市の「田無神社」へ初参り、鎮守の杜の中に大国主命を主祭神とし水と風の神を五龍神として鎮められています。参拝者は八十五名の多数でした。



一月の有宵会への参加者は六十九名でした。

伊藤 璃香